

お客様とともに

お客様から信頼され、
満足をいただくために。

基本方針

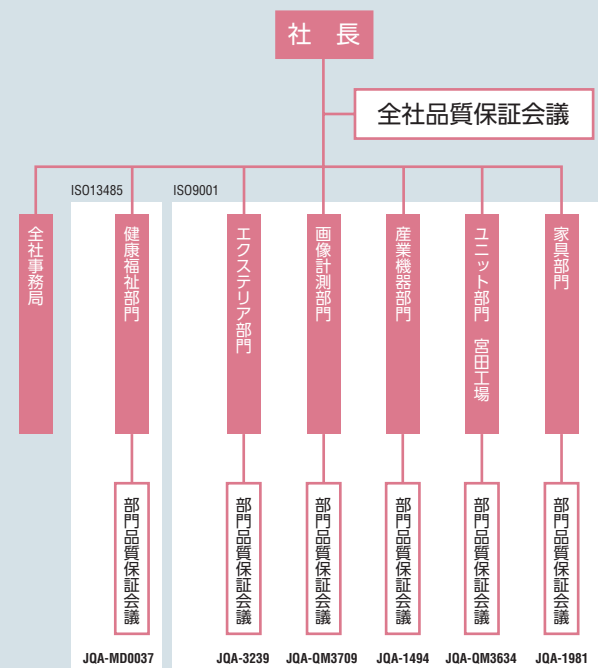
お客様に満足と感動をあたえる商品・サービスを提供する。

全社品質保証体制

当社では、品質を経営の最重点事項ととらえ、お客様に信頼をいただける品質の製品・サービスを実現するため、社長が全社品質保証責任者となり、全社横断的な品質に関わる事項を審議決定する「全社品質保証会議」を設置し、よりよい品質の実現に向けた取り組みを行うとともに、品質上の問題・課題の解決に努めています。

また、主要な各事業部門ごとに品質等のマネジメントシステムに関する国際規格を取得し、よりよい製品・サービス実現のための仕組みづくりに努めています。特に健康福祉部門においては、より安全な製品の製造等を目指して2010年3月に医療機器における品質マネジメントシステムの国際規格「ISO13485」の認証を取得しています。

品質保証組織図



機能別分科会活動による 機能向上への取り組み

当社では、事業の多角化を通じて、現在6つの事業部門により事業運営を行っていますが、事業部門によるタテ割りの事業運営の弊害を排除し、全社的な機能の向上を図るべく、経営を担う各機能について、機能革新に関する専門分科会を設置しています。

機能革新に関する専門分科会の目的は、①先端知識スキルの確保による仕事の改革・質的向上、②事業部門間格差の解消と全社的な機能水準の向上、③各機能におけるスペシャリストの育成です。

現在、「営業革新分科会」「開発革新分科会」「購買革新分科会」「生産革新分科会」「品質革新分科会」「QCサークル委員会」の6つの分科会を設置し、全社各事業部門等から選出されたメンバーにより、各経営機能レベルの向上に向けた活動に積極的に取り組んでいます。

●専門分科会の目的

- ① 先端知識スキルの確保による仕事の改革・質的向上
- ② 事業部門間格差の解消と全社的な機能水準の向上
- ③ 各機能におけるスペシャリストの育成

●現在設置されている分科会

- ・営業革新分科会
- ・開発革新分科会
- ・購買革新分科会
- ・生産革新分科会
- ・品質革新分科会
- ・QCサークル委員会

仕事の見える化を通じた 業務効率・品質の向上

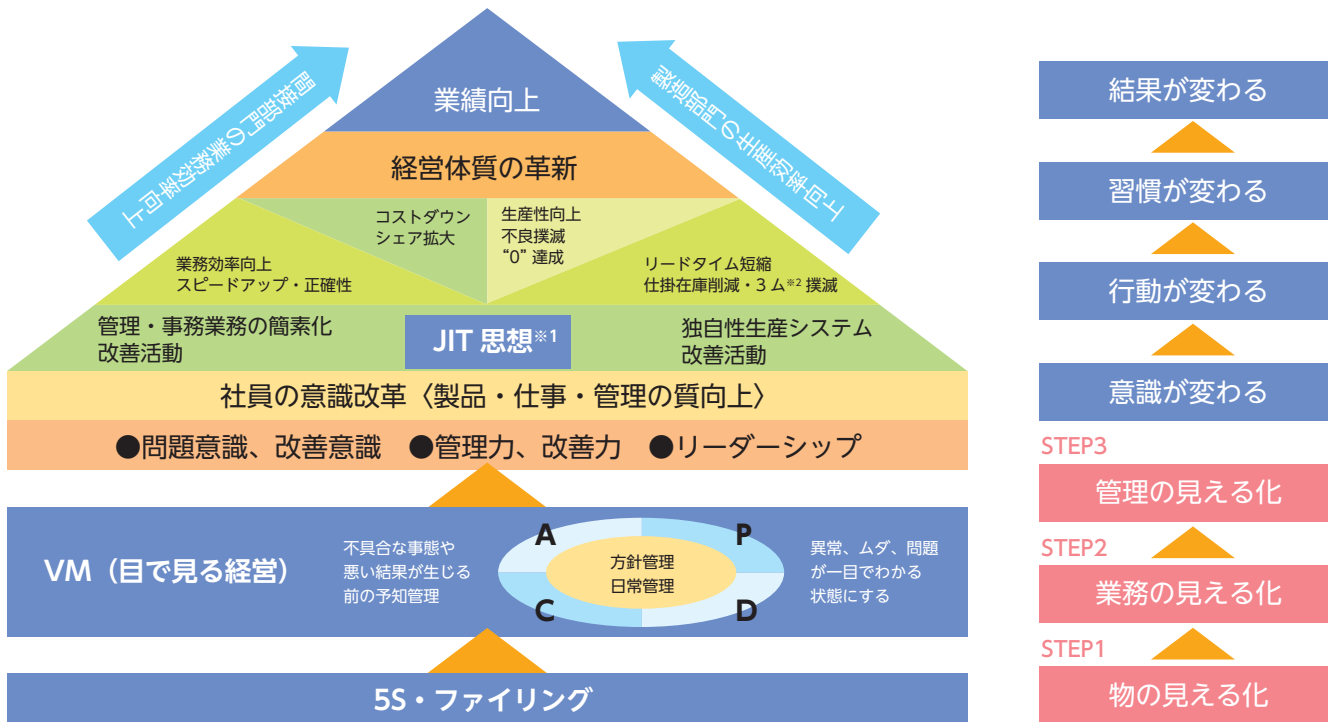
当社では、VM(Visual Management=目で見える経営)活動を推進し、経営体質の革新・強化を図っています。

VM活動とは、製造現場と管理・間接部門を含む全部門において、“目で見える経営”ができる仕組みづくりを推進しながら、生産・管理・事務システムの改善活動および維持管理活動を展開して、原価低減と収益増大を図り、終局的には企業の経営体質の革新・強化を実現することを目的とする活動です。

現在当社では、VM活動推進の第一、第二段階である「物の見え

る化」と「業務の見える化」を進めるべく、5Sの徹底およびファイリングシステムの構築を行っています。これにより、異常・ムダ・問題点が一目でわかるようになり、早めの処置・対策が可能となったとともに、問題意識・改善意識の向上につながっています。

今後は、さらに、生産・管理・事務システムの改善活動を展開して「管理の見える化」を進め、最終的には、経営体質の革新による業績向上を目指してまいります。



※1. JIT思想:ジャスト・イン・タイム思想の略であり、つくりすぎのムダを省くため、必要なものを、必要なときに、必要なだけ調達、生産、供給するという考え方に基づく思想。
 ※2. 3ム:「ムリ・ムダ・ムラ」のこと。

アンケートによる 品質向上への取り組み

継続的な製品・サービスの改善を図るべく、提供する製品・サービスに対してお客様のご評価やご要望をお伺いするためのアンケートを実施しています。

当社画像計測部門では、製品品質、製品コスト、納期、アフターサービス等の項目について、5点満点での評価アンケートを実施し、評価結果をその後の改善活動に反映させています。

例えば、画像計測部門では、製品品質、納期等についての改善を進めるべく2010年度よりプロジェクトを立ち上げ、現在部門一丸となって改善活動に取り組んでいます。

顧客満足度調査結果

